

平成 18 年度事業計画案

自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日

1. 会誌の発行

騒音制御第 30 巻 2 号～第 31 巻 1 号の 6 冊を隔月に発行し、会員に配布する。

1 号当りの平均ページ数は本文 85 ページを予定し、投稿論文掲載等の外、毎号特集を企画する。また、会誌の電子化への準備を行う。

2. 研究発表会の開催

平成 18 年 4 月 26 日(水)東京工業大学百年記念館において、平成 18(2006)年春季研究発表会を開催し、講演論文集を発行する。

平成 18 年 9 月 20 日(水)、21 日(木)の両日愛知工業大学において、平成 18(2006)年秋季研究発表会を開催し、講演論文集を発行する。

3. 調査・研究

研究部会において研究計画を立案し、テーマごとに分科会を設けて調査研究を進め、その成果を報告会等を開催して会員に報告する。

さらに、関連学協会との騒音・振動に関する情報交換を行う。社会貢献の一環として、受託調査研究を積極的に行う。

また、音響測定器に関する日本工業規格 (JIS) の見直し及び原案作成を行うと共に、音響関連国際規格 (ISO、IEC) の審議に協力する。

4. 懇談会の開催

会員同士が環境騒音問題を自由に議論し、情報交換することを目的として、“グローバルノイズポリシー”をテーマに、平成 18 年 4 月 25 日 (火) 東京工業大学百年記念館において、第 6 回の環境騒音問題に関する懇談会を開催する。

5. 出版

「騒音規制の手引 (改訂版)」を出版する。技術講習会のテキスト「騒音・振動技術の基礎と測定」を初級者向けの技術書として入門シリーズ (仮称) に加え出版の作業を進める。また、騒音制御に係る用語を解説する「騒音制御用語事典 (仮称)」の編集作業を進める。

6. 教育・普及

講演会、シンポジウム、講習会及び見学会等を随時計画し実施する。会員に対して学会情報をいち早く伝達するため、ホームページの一層の充実をはかる。合わせて、学会入会の勧誘を行う。

7. 選奨

騒音及び振動の制御に関する学術・技術の発展と普及、これによる生活環境の保全と向上に対して功績のあった者又は業績を表彰・奨励するために、研究功績賞、守田栄論文賞、環境デザイン賞及び研究奨励賞を贈呈する。

8. 資格認定

資格制度に基づき、社団法人日本騒音制御工学会認定技士の認定を行う。

9. 海外との交流

2006年12月に inter-noise2006 をホノルルで INCE/USA と共催する。

I-INCE 加盟団体として、その活動に協力する。

海外関連機関 (ICA、WESPAC、INCE/USA 等) と連絡、情報の交換を行う。

2007年8月にイスタンブールで開催予定の inter-noise 2007 に協力する。

また、Noise/News International を有料で会員に配布する。

10. 30周年記念事業

学会設立30周年を記念して、次の通り記念事業を実施する。

- ・ 学会誌30巻4号を30周年記念特集号とする。
- ・ 秋季研究発表会において、特別シンポジウム及び特別講演を企画する。
- ・ 学会のホームページをリニューアルする。
- ・ 騒音対策関係業者検索リスト (CD版) を作成し、会員等に配布する。
- ・ これまでに発行した「騒音制御」全30巻までを電子媒体で配布する。

11. その他

学会運営の効率化及び会員サービスの向上を図るため事務局体制の充実・強化に努める。